

未知の 体験

堂豊 成人向



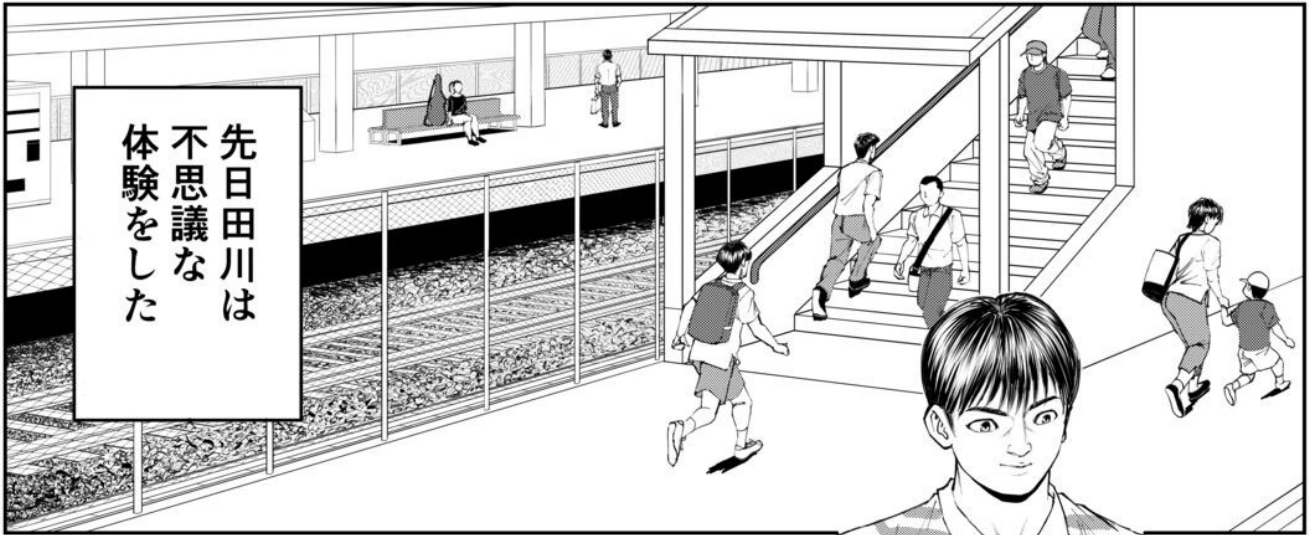


目次

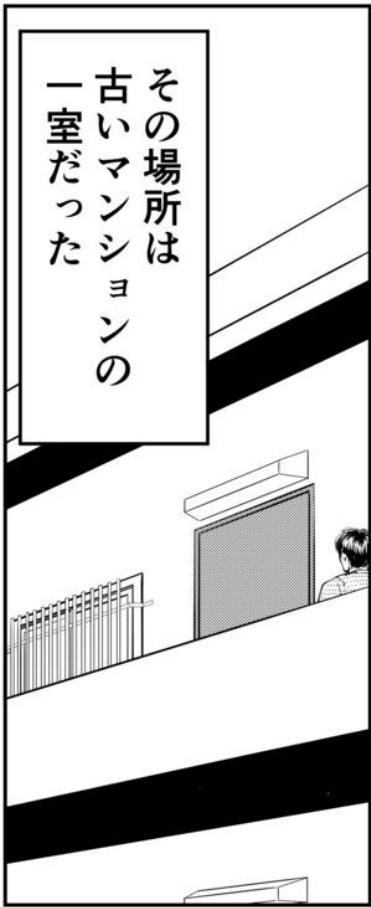
3…本編

22…あとがき

23…おまけ



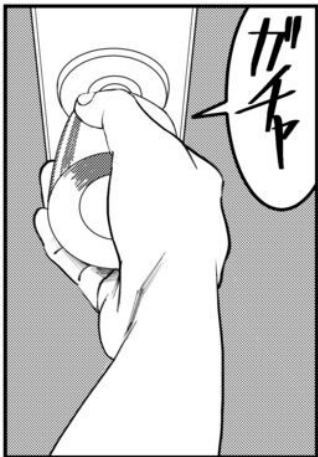
先日田川は
不思議な
体験をした



その場所は
古いマンションの
一室だった



「未知の体験してみませんか？」という
ネット広告に惹かれて
その日田川はその場所に行った



ガチャ

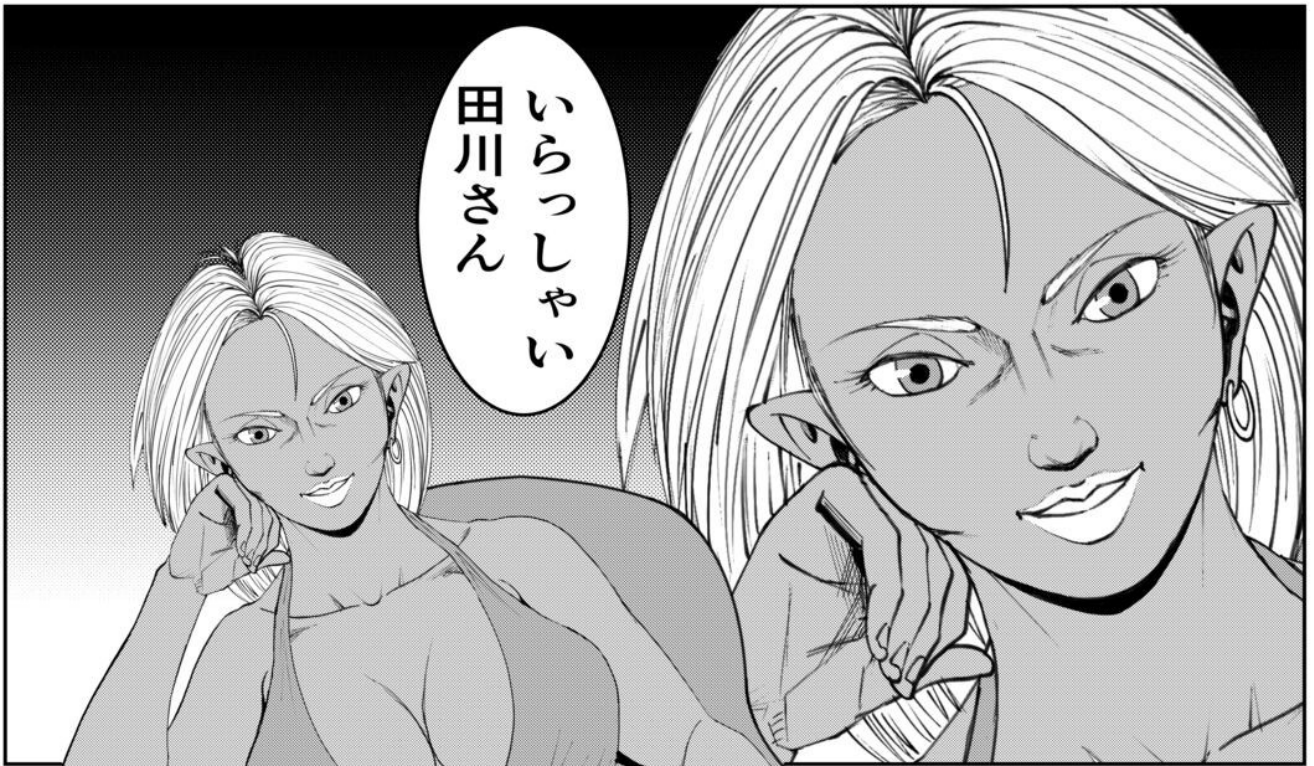


ピンポン

はい

予約していた
田川です

どうぞお入りになつて



いらっしやい
田川さん



その部屋は
薄暗く
広いか狭いかも
よく分からなかった

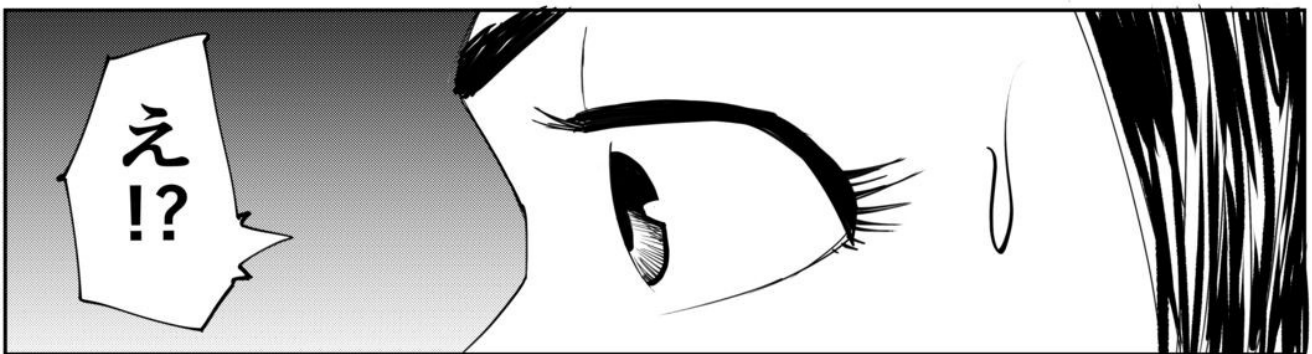
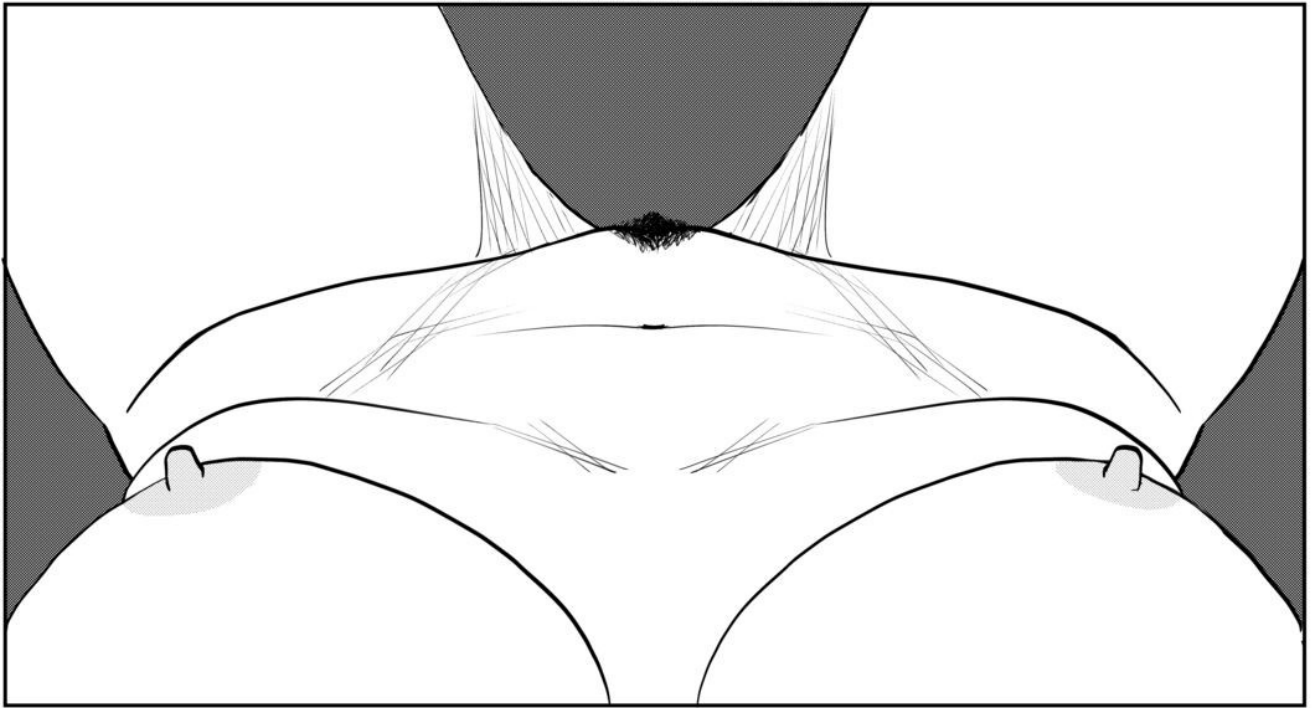
この椅子に
掛けて
いただけ
かしら

ここは大人の
体験をする所
なんですか？
僕は童貞では
ないし
未知の体験
ではないん
ですけど

フフ
大丈夫よ
ちゃんと
未知の体験を
させてあげる

ご自分の
体をご覧に
なって

え!?





そして田川の顔は
女性の様に
変わっていた



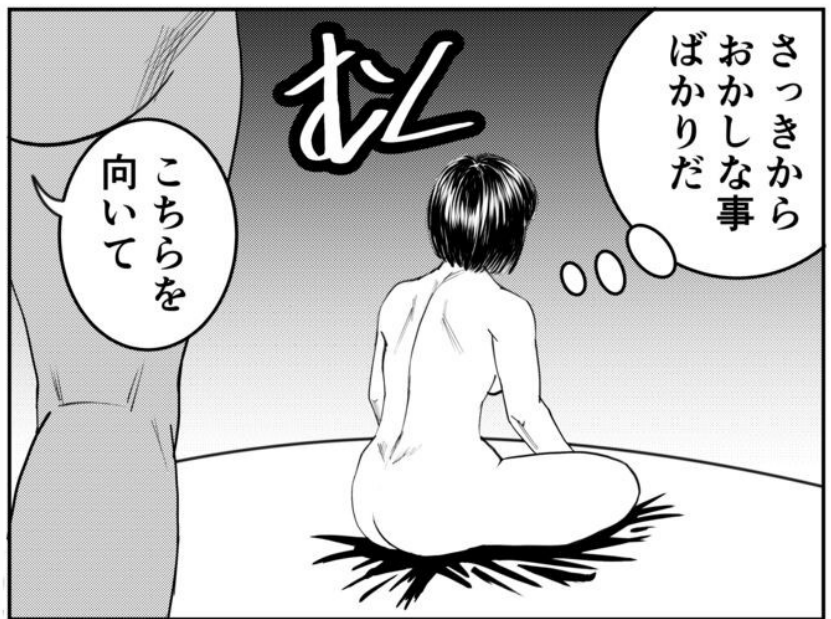
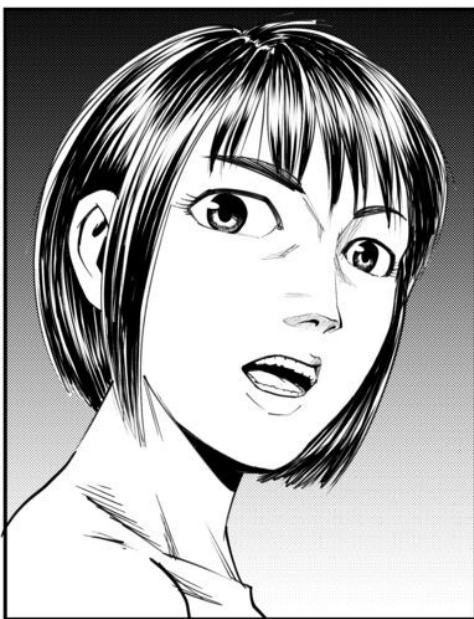
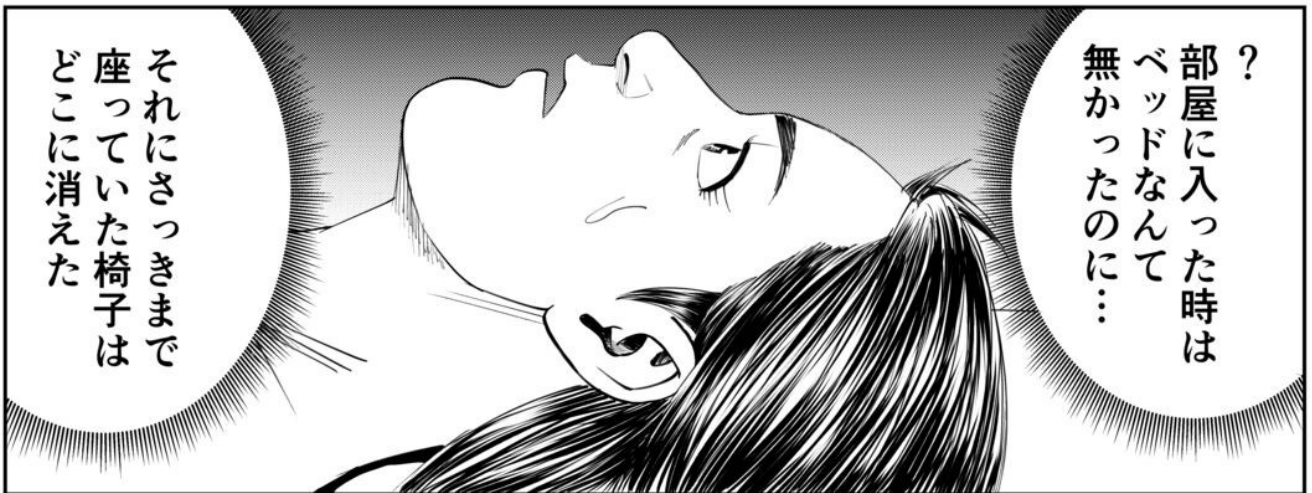
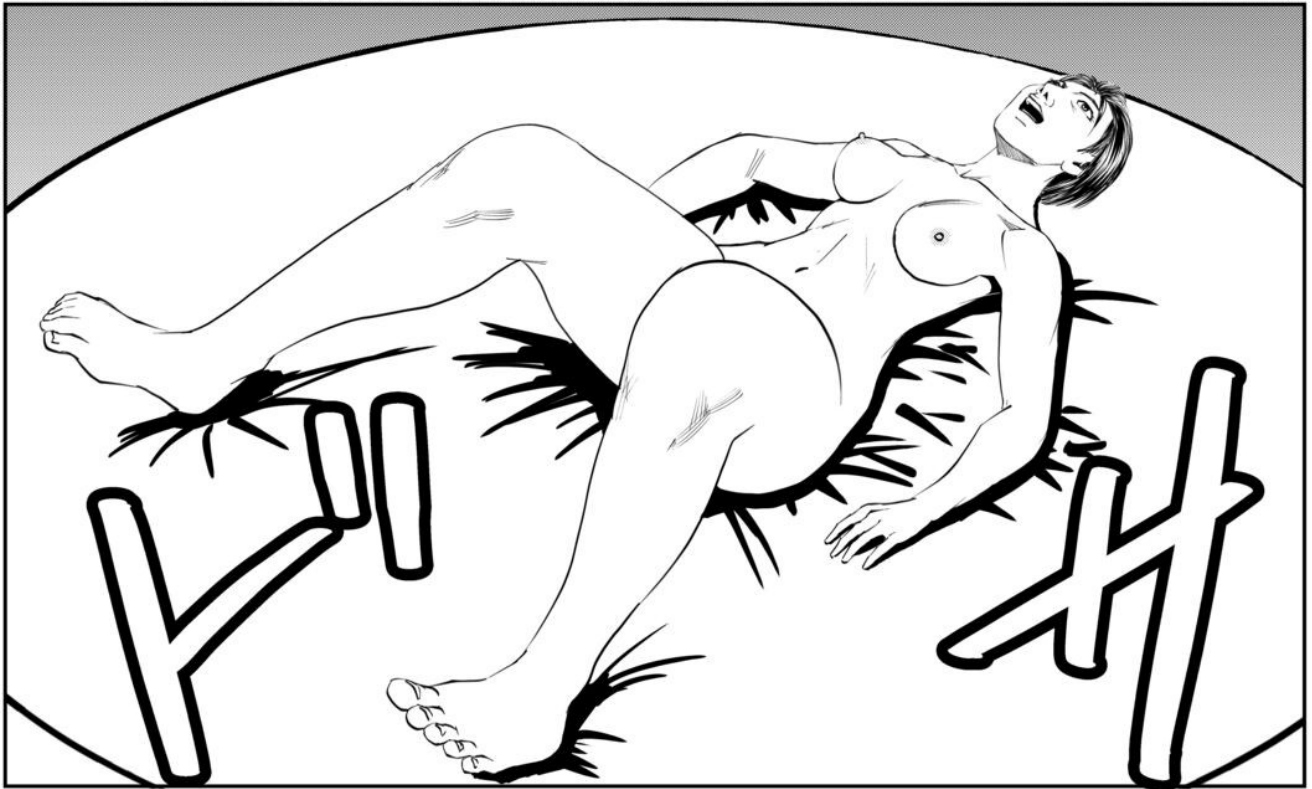
目の前には
さっきまで無かった
鏡があった



さあ
横になって

え!?!
横!?!



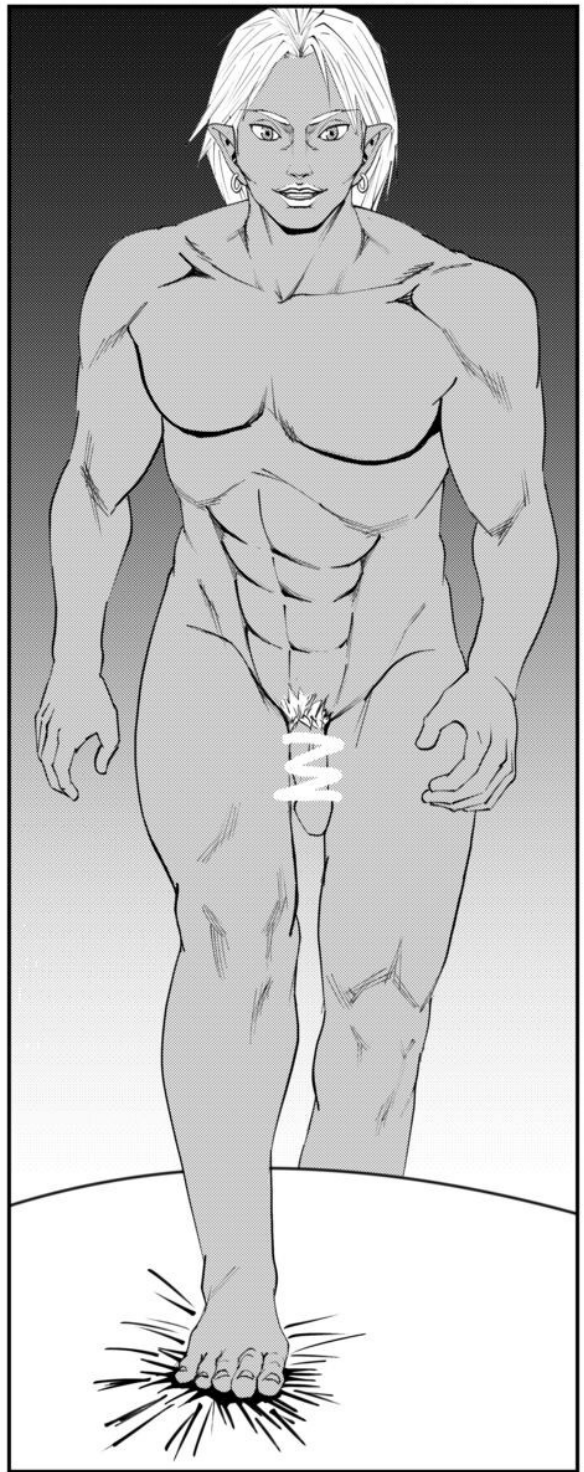




何で!?
さっきまで
女だったのに

言ったでしょ
未知の体験を
させてあげるって

今からあなたは
あたしと
女性として
SEXするの

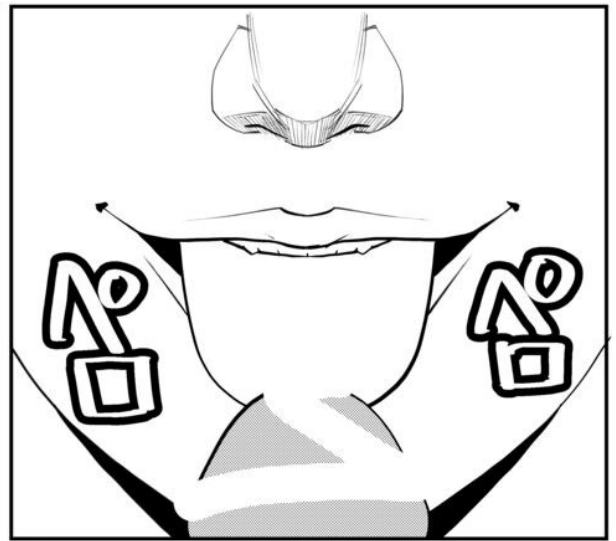


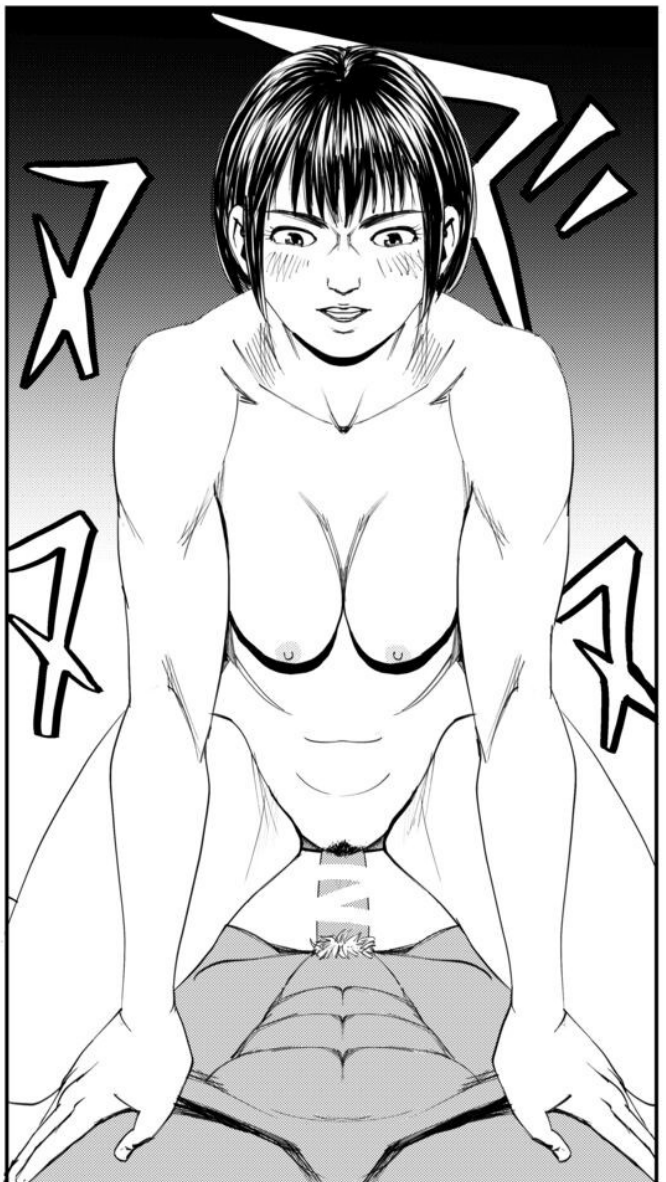
そんなの
体験した事
無い
でしょう?

それじゃあ
フェラして
もらおう
かしら



信じられない事に
田川はそれを
愛おしく
思うように
なっていて
早く舐めたいと
思っていた









気持ちいい

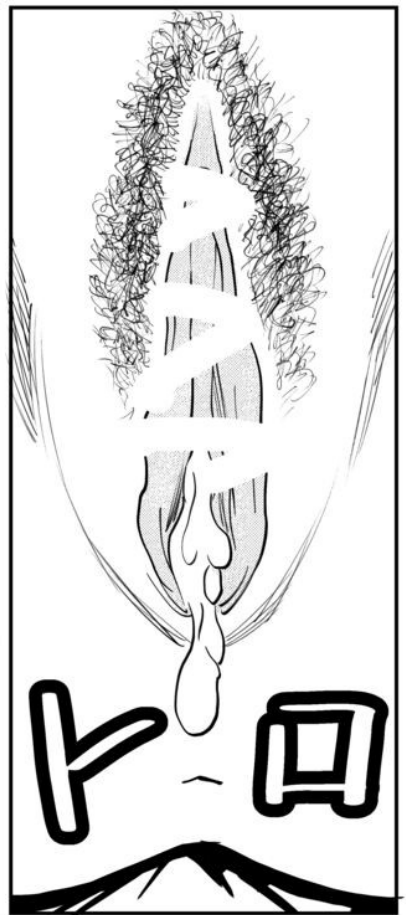


これが女の快感
男とはまるで別物
まさに未知の体験だ

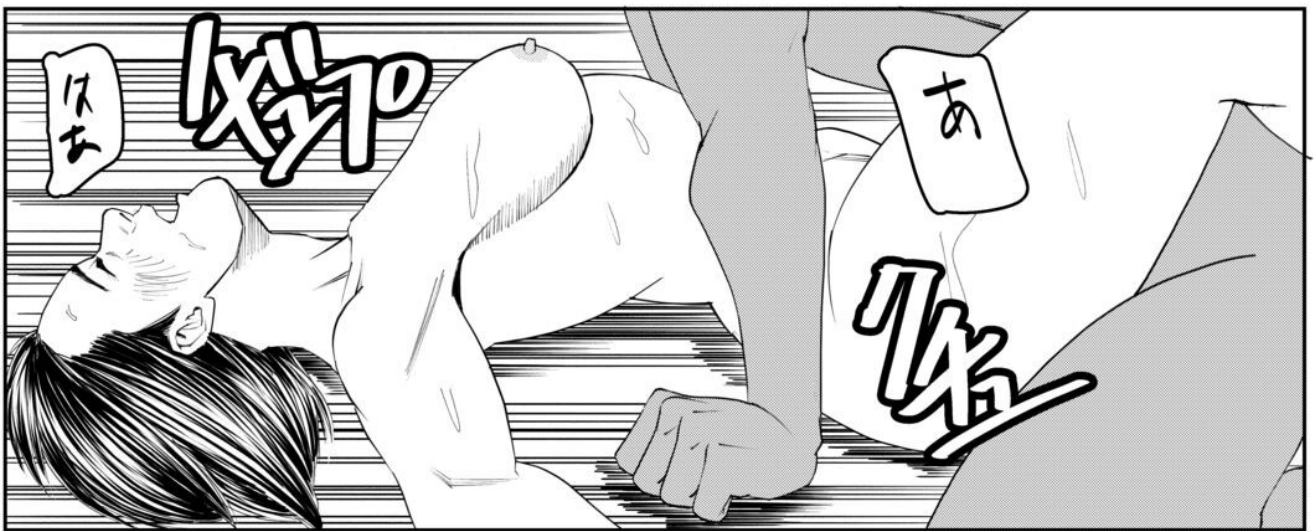
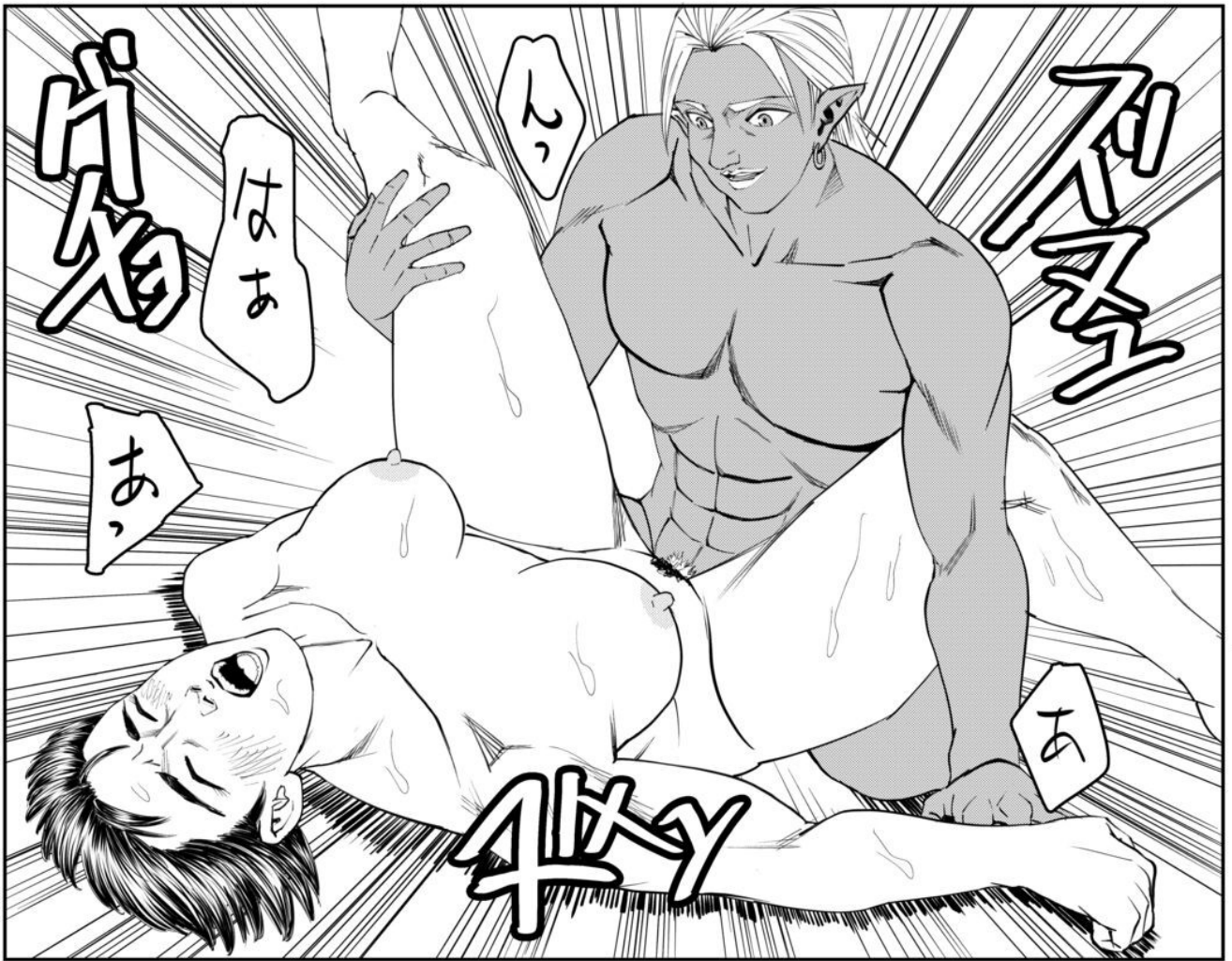




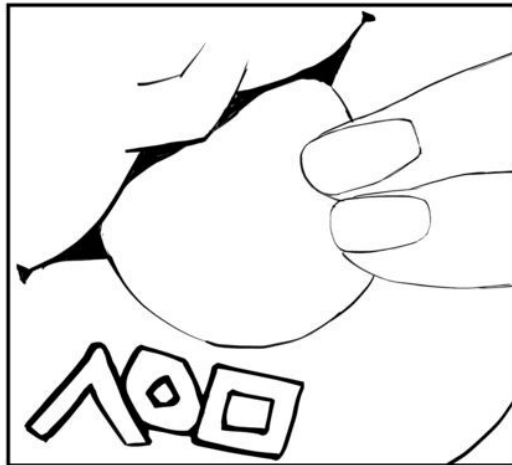
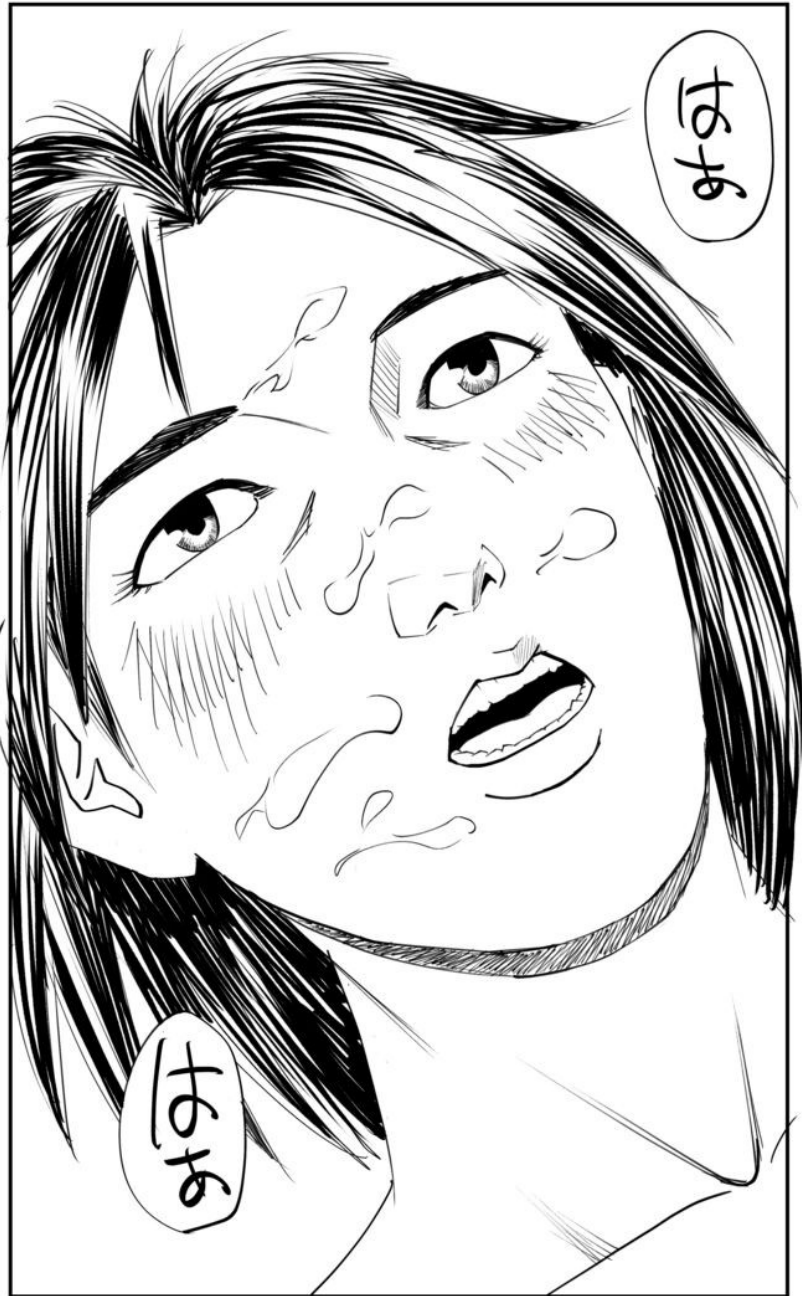
子宮が
精子を
受け止めるのを
感じながら
田川はいった

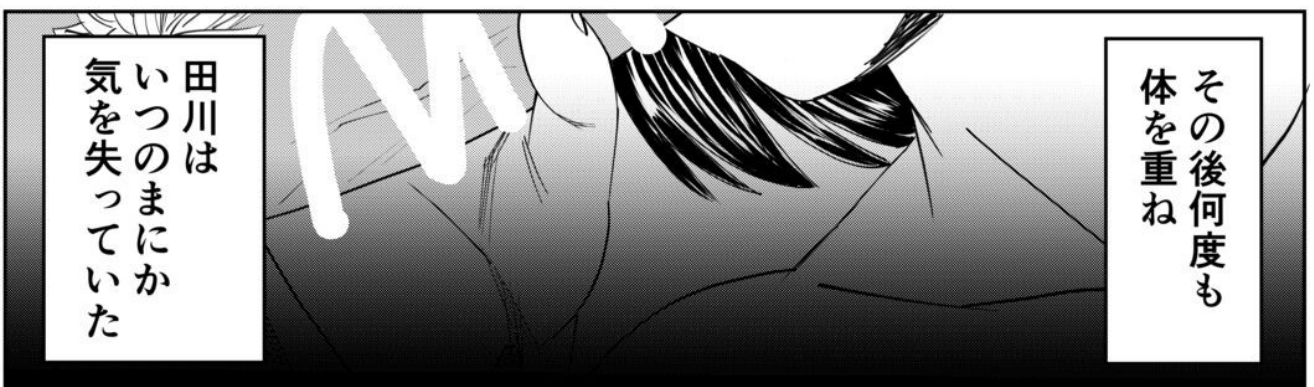
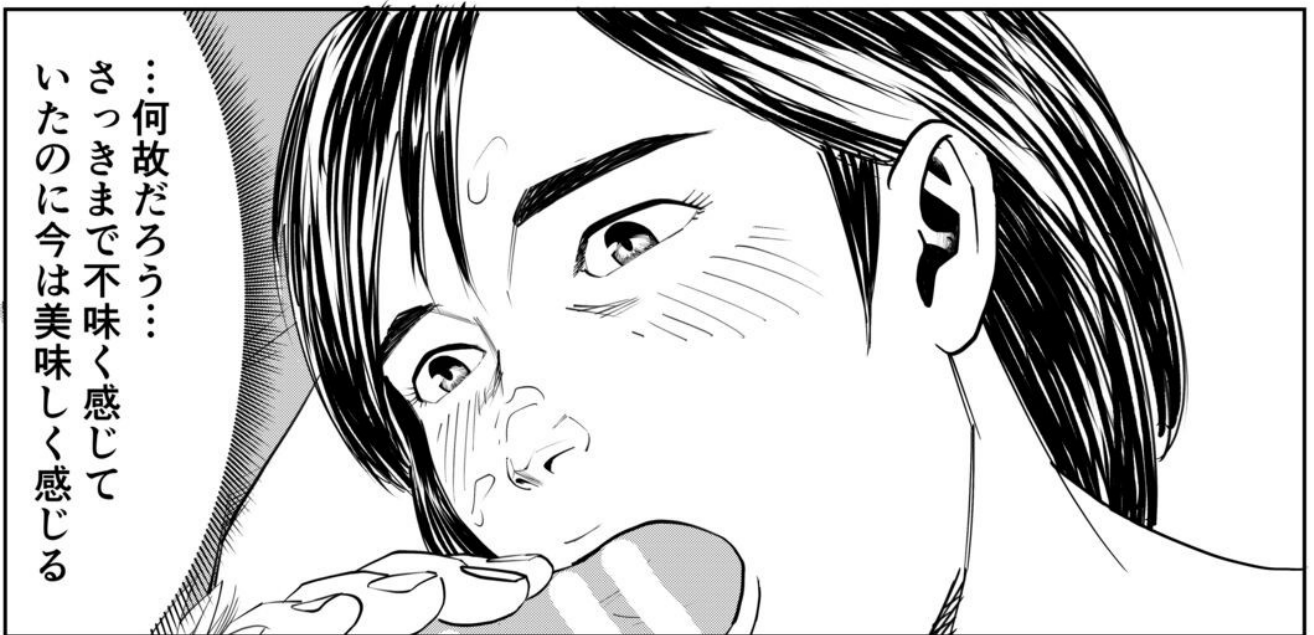














田川は
この時の感覚が
忘れられず
後日再び
この場所を
訪れようとした
しかし
降りた駅すら
存在せず
訪れる事は
出来なかった

あとがき

この度は「未知の体験」をご覧になっていただき誠に有難うございます。

今までの作品とは違う雰囲気の商品を描いてみたいと思いこの商品を描きました。

もっと不気味でホラーな雰囲気にしたかったのですがあまり変化が無いという結果になってしまい残念です。目的も正体も分からない途中で男に変わる謎の女について説明不足かもしれないというのは反省すべき点だと思います。

しかし説明し過ぎるとホラー感が無くなってしまうのでこれは仕方がないと自分を納得させてます。

肌の色を変えて耳を尖らせたので謎の女はこの世界の者ではないという事は読者は分かってくれるはず。だから不思議な能力を持っていても読者は納得してくれるはず。と読者の想像力や理解力に頼った話を創ったのは反省すべき点だと思う。

残念だった点や反省すべき点ばかり触れていたら気分が萎えるので良かった点にも触れると田川が女体化してベッドに横たわる場面は上手くコマを構成できたと思う。…読者様はそうは思わないかもしれませんが。

今作は前作からなるべく間を空けないで発表する、できれば一か月程度で発表するという目標があったのでそれもなんとか達成できそうなので良かったです。次の作品は10月頭から10月半ばに発表する事を目標に描きたいと思います。(ここで宣言しないとサボりそうなので宣言しました)

それでは次回作でお会いしましょう。

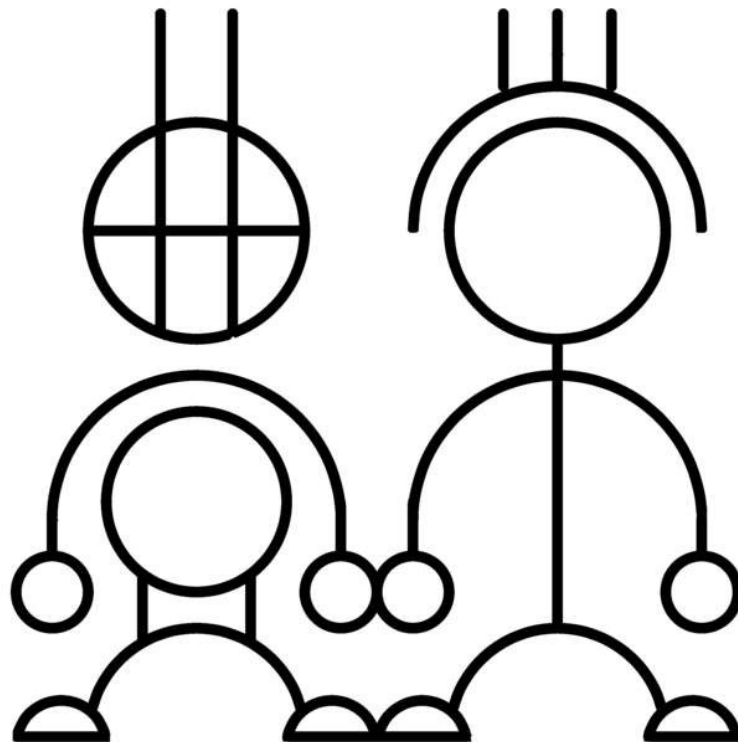
皆様の御多幸を祈っています。

2022 8

おまけ

「俺は褐色ねーちゃん
の裸が見たいん
じゃー！」
という読者様
のために
描きました。





Twitter

<https://twitter.com/mangayutakadou>

Blog

<http://mangayutakadou.blog.fc2.com/>